

カラー化で表面処理革命

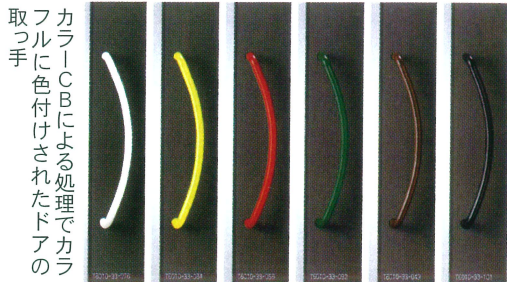
ワイピーシステム（所沢市）

めっき…環境性に優れた 低温クロムめっきの多色化による付加価値の向上

錆びにくいめっきと電位差腐食しない塗装の長所を取り込んだ被膜「低温黒色クロムめっき」（CBC）による独自の処理方法をさらに進化させ、カラー化を実現。環境性能に加えてデザイン性も兼ね備え、光学機器や航空機、自動車部品などの市場獲得を目指している。

CBCは、めっき加工の手法を使って金属電位を持たないセラミックの被膜で下地処理を行う。曲げても被膜が剥がれず、錆びないのが大きな特長だ。さらに、電解の高精度化や含浸工程の見直しによりカラー化。カラーCBCはセラミッ

ク被膜の構造により密着力と密度が高いため、被膜の厚さは従来の10分の1程度の15〜20μと薄くても色が出せる。適用素材も鉄、銅



カラーCBCによる処理でカラーフルに色付けされたドアの取っ手

真ちゅう、ステンレス、アルミなど幅広い。

カラー化により、これまで金属色に限られていた自動車のマフラーや部品で使われるパネなどにファッ

ション性を加えることができ、ほか、板ばねの電極も色分けが可能だ。被膜が剥がれない点では公園の遊具やドアノブなど、手に触れる物品の安全性やメンテナンス

ンスに寄与。被膜が薄いため、廃液処理の軽減を図ることができ、環境にも優しいという。

CBC処理後に板金で折り曲げたり、プレス打ち抜きや切削加工もでき、製造工程の簡略化を進められる。「全く新しいシェアを獲得できうる技術」（同社）と自信をみせている。

【株式会社ワイピーシステム】

本社工場は所沢市牛沼607-16。吉田英夫代表取締役。1987年にめっき加工業で創業。金属表面処理や受託研究開発のほか、二酸化炭素を使った消火具「消棒シリーズ」は経済産業省「新連携」事業第1号の認定を受け開発・製造・販売している。知財、知的所有権に対する取り組みも行っている。